

稲門フィラテリー 第71号

2019年3月1日発行

リトアニア郵便史 第2回(1943～2018年)

荒木 寛隆

1. 社会主義共和国時代(1943～1989年)

1940年8月3日ソ連に併合されたリトアニアは、ナチスドイツの占領を経て1944年7月13日ソ連軍再侵攻により再びソ連領となり、リトアニア社会主義共和国となった。ソ連邦時代のモスクワ政府は連邦内各共和国の象徴などを描く切手を発行し、リトアニアに関する切手も38種発行(図1)しているが全てソ連切手としての発行である。



図1 トラカイト城

ここに興味深いカバー(図2)がある。1951年8月2日クルシェナイ(リトアニア)からソリアナヤ収容所(ラーゲリー/イルクーツク)に流刑されたリトアニア人流刑者宛の郵便である。リトアニアの郵

趣仲間レオナス(Dr. Leonas Veržbolas)の解説によれば「1941年のソ連による大量流刑でバイカル湖周辺のラーゲリへ送られたアルフォンサス・スタルクス氏が流刑中に届いた手紙を携えて1958年に帰国した」のだと云う。

スターリン死後のことである。1941年6月の第1次ソ連占領から1953年スターリン没後の最後の追放までの12年間で無実の罪で流刑されたリトアニア人は44万人強と云われる。リトアニアの悲惨な歴史を物語る証拠である。



図2 シベリア収容所宛カバー-1951.08.02



図3 「人間の鎖運動1周年記念」(1991.08.23 ラジア局)



図4 独立宣言日付カバー
(1990.03.11 ロキシュキス局)

2. 1990 年再独立達成、リトアニア郵便復活 (1990～1994 年)

リトアニアの国名が再び歴史上に現れるのは1988年8月である。タリン(エストニア)ーリガ(ラトヴィア)ーヴィルニウス(リトアニア)間650kmをバルト三国200万人の国民が手と手を繋ぎ、ソ連併合反対を叫んで『人間の鎖』運動(図3)を実現した。1988年10月に国民運動『サユディス』を結成したリトアニアがバルト三国の独立運動を先導し、1990年3月11日に三国の先頭を切って独立を宣言した(図4)。第2次リトアニア共和国時代は四半世紀を過ぎ、既に戦前の第1次独立期間を越えて今日に至っている。特に独立前後のソ連郵便からリトアニア郵便への移行は消印、切手だけでなく、郵便制度に至るまで幅広い研究が必要となる。

(1)郵便印のリトアニア化

独立宣言と同時に政府は郵便からソ連の痕跡を排除すると共に、「リトアニア独立」の事実を内外に周知・アピールすることを決定した。

(イ) 郵便付加印

独立宣言前後のリトアニア郵便の最初の変化は「郵便付加印」の登場であるが、ヨニシュキス(Joniškis)局では独立宣言日前の3月3日から使用されたことが確認されている。付加印には単独で使用する付加印(図5、2行印と3行印の両方が存在)と日付印と併用する付加印(図6)とがある。単独使用の付加印[Lietuvos Respublikos/PAŠTAS(リトアニア共和国郵便)]は全国の郵便局で使用され、「リトアニア再独立」、即ち、リトアニアが独立国家であることを国民だけでなく海外にも周知する効果を狙ったものである。また、首都ヴィルニウス中央郵便局やカウナス中央郵便局等の主要8局で使用された3行付加印[ATSTATYTA LIETUVOS/ NEPRIKLAUSOMA VALSTYBE /1990 metu kovo 11d.(独立主権国家リトアニア復活 1990年3月11日)](図7)は主として海外宛の郵便に使用された。これに対して日付印と併用する3行付加印はヴィルニウス中央郵便局のみで3月9日以降使用され、2様式(図6)が確認されている。



図5. 付加印(単独使用)(リトアニア共和国郵便)

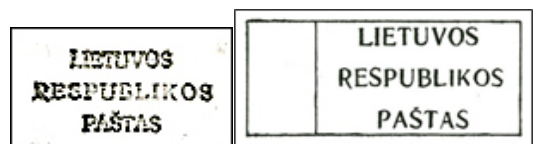


図6. ヴィルニウス局使用の郵便付加印(日付印と併用)

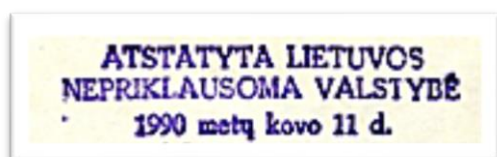


図 7. 郵便付加印(海外使用)
(独立主権国家リトアニア復活/1990 年 3 月 11 日)

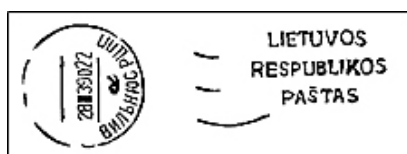


8-①リトアニア語とロシア語のバイリンガル機械印

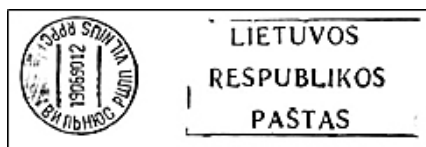


8-②ロシア語のみの機械印

図 8. 機械日付印の改造(リトアニア化)

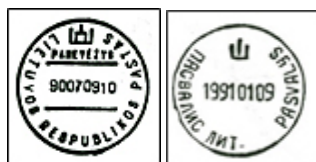


小型改造印



大型改造印

図 9. 改造機械印(『リトアニア共和国郵便』文言入り)
ヴィルニウス局郵便輸送センター



暫定手押し印 改造機械印

図 10. 国家紋章『ゲディミナスの柱』入り

(ロ)ソ連製日付印の改造とリトアニア式新日付印の導入

郵便付加印の使用と同時期にソ連製日付印の改造が 3 段階で行われた(図 8)。①ソ連邦のシンボルマーク「星と鎌のマーク」とソビエト社会主義共和国連邦の頭文字「СССР」をガムで覆う、②次に両表示を削り取る、③ロシア語の郵便局名を削り取り、リトアニア語の局名だけにする。また、ヴィルニウス中央郵便局、カウナス中央郵便局及びマリヤンポール郵便局では機械印の波線部分に「リトアニア共和国郵便」の文言を挿入した消印(図 9)が使用されたほか、国家紋章入りの暫定日付印(図 10)も使用された。

(2) デットカントリー復活・ 50 年ぶりに切手発行

1990 年 5 月 17 日に再独立後初のリトアニア製切手付封筒(図 11)が発行された。切手印面はリトアニア再独立を象徴する『燈火を掲げる女神(Angel)』の図案にソ連ルーブル建て国内封書料金 5k(コペイカ)が表示されている。ソ連は当初リトアニア切手の効力を認めなかったもので、裏面には「リトアニア国内のみ有効」と印刷して、暫くの間は国内郵便に限定使用した。次いで 6 月 14 日には額面 50k(コペイカ)の「封鎖基金ラベル」(図 11. 裏糊・目打ち無し)を発行して郵便物への貼付を奨励した。4 月 17 日に始まったソ連による経済封鎖への国民による危機突破寄付金とも云えるが、国内郵便料金の 10 倍の価格にも拘らず 61 万枚が瞬く間に完売した。この切手付封筒印面の Angel 図案と封鎖基金ラベルは再独立リトアニア一番切手のフォアランナーと云われている。



図 11. 封鎖基金ラベル貼りの再独立後 最初の切手付封筒



図 12. 一番切手の初日カバー



図 13. 第 2 次 Angel 切手/ラベルはロシア語

(イ)一番切手発行

1990 年 10 月 7 日リトアニア印刷の一番切手 4 種(図 12)が発行された。目打ち・裏糊無し、単色凸版印刷の素朴な切手である。切手発行と同時に国内郵便料金は 4 倍に値上げされた。ソ連経済の悪化からルーブルの下落が続いたためである。次いで、12 月 22 日には一番切手実用版を利用して第 2 次 Angel 切手(通称「再版切手」、図 13)が発行された。この再版切手シート(4×4)には目打ち模様と共に、

5 列目のタブに上から露・英・仏・独語の順で、「再独立国リトアニア一番切手」の文言が印刷されている。また、再版切手のブルーフ(図 14)はソ連の経済封鎖下の物資不足の時期に、辞書などの裏面に印刷されたので「Book Proof」と呼ばれている。



図 14. 第 2 次 Angel 切手カラーブルーフ/表裏

(ロ)再独立直後のリトアニア切手と切手付封筒の法的効力

バルト三国は 1990 年 7 月 23 日相互に切手の効力を承認して国内料金適用としたが、ソ連(モスクワ政府・ゴルバチョフ大統領)はリトアニア切手の効力を認めなかった。ところが、ロシア共和国(エリツィン最高会議議長)は 10 月 18 日に「ソ連切手 1 枚以上貼付」を条件にロシア国内での効力を認めた(図 15)。他のソ連邦内共和国 11 か国も夫々の独立宣言と同時にリトアニア切手を受け入れた。ソ連がリト



図 15. ロシア共和国承認直後のリトアニア切手とソ連切手貼付(モスクワ宛初期書留封書便)
1990.10.22 ヴィルニス中央局

アニア切手を正式に認めるのはクーデター事件後の1991年9月6日にリトアニアの独立を承認してからであるが、実質的にはロシア共和国承認後は次第に黙認され、なし崩し的にソ連邦内各地へ郵送されていた。

(ハ) 国際郵便の取り扱い

再独立後のリトアニアからの国際郵便はソ連時代同様に全てモスクワ経由であったが、1992年2月17日にクライペダ(Klaipeda)とドイツ・ムクラン(Mukran)間のフェリー便を使用して初めて国際郵便をドイツ経由で西ヨーロッパ諸国へ直接輸送するルートが開設された。更に、3月30日にルフトハンザ航空(Vilnius - Frankfurt/ドイツ)直行便が、次いで、翌31日にはスカンディナヴィア航空(Vilnius - Copenhagen/デンマーク)直行便が就航し、再独立後初めてリトアニアの航空便が西側諸国に空輸された。

(3) ソ連切手・ステーションナリーの効力

ソ連切手は1991年12月31日を以て効力停止となった。但し、ハガキや切手付封筒等のステーションナリーは図案がリトアニアに因んだもの、及び旧ソ連邦を想起させないものに限られ、在庫尽すまで切手印面をゴム印で抹消して使用された。

(4) インフレ克服と自国通貨導入

ソ連経済の不振からソ連通貨ルーブルの下落は止まらず、加えて独立運動中のソ連による経済封鎖等で再独立後のリトアニア経済は混乱に陥り、消費者物価はハイパーインフレの様相を呈していた。1990年12月から1994年12月までの公式消費者物価指数は255倍

となっているが、正式統計の無い1990年は年率4倍以上の物価騰貴と推計されているので実質的には1千倍以上のハイパーインフレであった。リトアニアはソ連経済圏から脱出するために、1992年10月1日に暫定通貨タロナス(Talonas)、次いで1993年6月25日には待望の自国通貨リタス(Litas)を導入(図16)してハイパーインフレに終止符を打った。

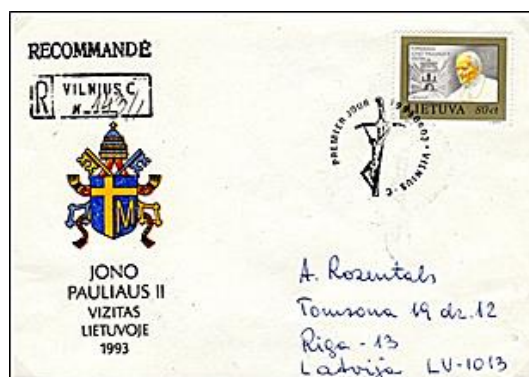
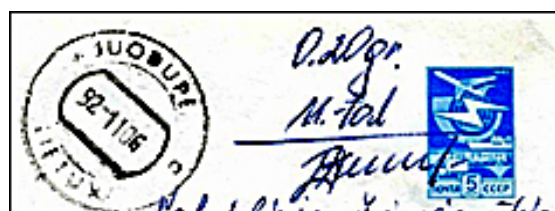


図16. 初の自国通貨(Litas)表示切手
(80cent/1993.09.03 発行)



Alytus 局型手押し印 (額面固定式) Vilnius 局Ⅱ型機械印 (額面変動式)

図17. 臨時料金収納印



上段：重量:20g 中段：書留料金:11Talonas
下段：郵便局員サイン

図18.「重量・郵便料金手書き」方式



図 19. 台切手は左 2 枚ドイツ印刷/右リトアニア印刷
何れも kopeck 単位から(1or3)Talonas 単位へ変更

インフレに並行して郵便料金も高騰する中で切手発行が間に合わないために、リトアニア郵政は①臨時料金収納印(図 17) の導入、②郵便料金手書き措置(図 18) を公認、③額面加刷切手(図 19)の発行、④旧切手額面価値を百倍に改訂して販売等々、矢継ぎ早の対応策を採り入れてハイパーインフレを乗り切った。

3. ハイパーインフレーション終息後～現在 (1995～2018 年)

1993 年 3 月 10 日の自国通貨リタス(Litas)の導入によりソ連経済圏からの離脱が実現し、独立後のハイパーインフレは終息に向かった。リトアニア経済は 1993 年の GDP が独立前(1988 年)の 40%にまで減少したがインフレの克服により 1995 年の GDP はプラスに転じて資本主義経済の活力を取り戻すことが出来た。この間に、政治的には 1991 年の国連加盟を皮切りに、1993 年 8 月 31 日ロシア軍撤退完了、2004 年 3 月 29 日 NATO 加盟、そして 2004 年 5 月 1 日には EU(欧州連合) への加盟を果たし、欧米諸国への依存を強めてヨーロッパの『普通の国家』へと変身して行く。

(1) リトアニア建国千年記念シリーズの発行

ラテン語のドイツ・ケドリンブルゲンシリーズ年

代記(Annales Quedlinburgenses)の西暦 1009 年の項に初めて「リトアニア」の名前が現れる。リトアニアは西欧史に登場して 1000 年になるのを記念して 2001 年 6 月 23 日から建国「千年紀シリーズ」(図 20/小型シート=切手 4 枚+ラベル 2 枚)を発行し、建国千年となる 2009 年までに計 9 集を発行した。



図 20. 建国千年シリーズ第 1 集

(2) 再独立後初の航空書簡(Aerogramme)と官製はがきの発行

(イ)再独立後の 2001 年 8 月 1 日に戦前戦後を通じて初の航空書簡(図 21)が発行された。2007 年 12 月 8 日までに 5 種類の航空書簡が発行されたが、それ以降の発行は無い。

(ロ) 戦前の第一次独立時代には切手印面付き官製はがきは 80 種発行されたが再独立後はなかなか発行されなかった。然し、2002 年 8 月 1 日になって鉱物学者イグノータス・ドメイカ生誕 200 年記念のはがき(図 22)が発行され、以後クリスマス絵はがきを主体に合計 16 種の官製はがきが発行された。然しながら、2015 年以降は「切手印面の無い絵はがき」だけを発売している。



図 21. リトアニア初の航空書簡



図 23. 移動郵便局(KILNOJAMASIS)消印付き
国内封書便

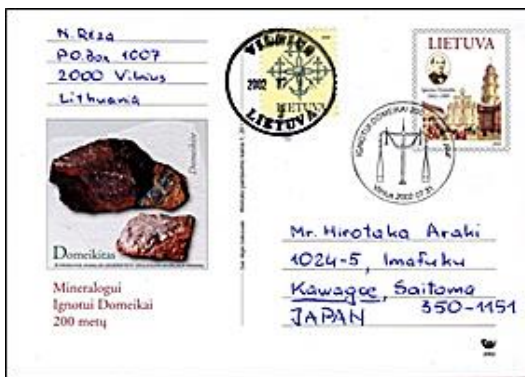


図 22. 再独立後初の官製はがき

(3) リトアニア郵便(Lithuania Post) の民営化

「リトアニア郵便」は日本より一足早い 2006 年 1 月 1 日に民営化された。

リトアニアの郵便局はソ連時代の 1989 年 12 月末時点では 1084 局もあったが田舎の部落ごとの小さな郵便局が多く、経営の足かせとなっていた。そこで政府は効率を重視して郵便局の統合と移動郵便局(図 23/Mobil Post)への転換を急ぎ、2010 年 12 月 31 日には 757 局(内移動郵便局 28 局)にまで減少させた。

(4) 国内外郵便料金体系変更(速達廃止、国際郵便地域区分の変更)

2007 年 9 月 1 日の郵便料金改訂と同時に、料金体系を次のように変更した。

- ①はがき料金を廃止して封書料金に一本化する。
- ②「速達便」を廃止して国内料金を「優先便」と「非優先便」の二体系とする。
- ③国際便料金は「ユーロ圏諸国」宛と「非ユーロ圏諸国」宛の二体系とする。

(5) ユーロ通貨の導入

2015 年 1 月 1 日リトアニアは念願のユーロ通貨を導入した。

バルト三国の中ではエストニアが 2011 年に、ラトビアが 2014 年にユーロ通貨を導入したがリトアニアは 2008 年以降の経済不況からの立ち直りが遅れ、財政赤字が膨らんでいた。その後、厳しい財政再建策を実施した結果、GDP に対する単年度財政赤字がようやく 2013 年にユーロ導入基準の 3% 以下となりユーロ導入国となることが可能となった。

ユーロ導入に際し、政府は便乗値上げを警戒して2014年8月23日からユーロ導入後の2015年6月4日迄全ての価格にユーロと旧リタス通貨の二重表示をすることを義務付けた。

尚、ユーロ通貨との交換比率は 1 ユーロ＝3.45280 リタス(Litas) である。



図 24. ユーロ(€)とリタス(Lt)の二重表示切手



図 25. 差額用二重表示の切手



図 26. ユーロ(€) 導入記念切手



図 27. 新ユーロ表示普通切手

(イ)郵便料金

郵便料金も二重表示の例外ではなく、2014年8月1日にリタスとユーロの二重(バイリンガ

ル) 料金表示となった。この時に一般封書郵便料金は据え置かれたが、小包料金のみは一部料金の値上げと重量区分の細分化が行われた。

(ロ) 郵便切手

郵便切手は2014年7月12日発行の『国連安全保障理事会 非常任理事就任記念』切手(図24)から2014年最終発行のクリスマス切手(2014年11月8日発行)まで額面の二重表示が行われた。また、リタスとユーロの二重料金換算差額を調製するために「0.01€/5ct」表示の小額普通切手(図25)も発行された。ユーロ導入は祝日だったので、翌日の2015年1月2日(月)にユーロ通貨導入記念切手(図26)とユーロ通貨建て普通切手6種(図27)が発行されて新通貨時代のスタートを切った。

(6)旧通貨リタス(Litas)時代の切手(含む切手付き封筒)の有効期間

(イ) 通貨無表示切手とリタス表示切手(含む切付封筒)

旧通貨リタスが切手額面に表示されたのはリタス導入後2カ月弱の1993年9月3日発行のローマ法王訪問記念切手4種(通貨表示ct=cent)以降である。従ってリタス表示意外に通貨単位無表示の旧ルーブルや暫定通貨タロナス時代の切手と官製はがきも流通していたが、何れもユーロ通貨導入後2年間の猶予期間を経て2016年12月31日で使用停止となった。(図28)



図 28. 旧リタス切手の Last Day Cover



図 29. 無額面「A」「B」表示切手の Last Day Cover

(ロ) 無額面「A」と「B」表示切手(含切手付き封筒)

当初は国内封書使用「A」と海外優先日封書用「B」として発行された無額面切手であるが、「A」表示切手は1995年7月以降40 cent、「B」表示切手は1994年7月10日以降1 Litasとして使用されていた。これ等無額面 A 及び B 切手及び切手付封筒は2017年10月18日に使用停止となった。(図 29)尚、航空書簡は額面表示が無く、且つ、使用停止の通達も無いのでユーロ導入後も有効の筈であるがリトアニアの専門家は「未確認」と云う。

(ハ) ユーロとリタスとの二重(バイリンガル)表示切手

2014年7月12日から2014年11月8日までに発行されたユーロ(€)とリタス(Lt orct)両通貨の二重表示切手はユーロ通貨導入後も有効である。

(7) パーソナル切手第1号発行

日本のフレーム切手に相当するパーソナル切手(リトアニア語愛称 MANO ŽENKLAS/ 英 MyStamp) 第1号が2015年6月に発行(図 30)された。発行者のカウナス病院は、リトアニア



図 30. パーソナル切手第1号

最大の総合救急病院で、リトアニアでは唯一の『最高度外傷・救急医療センター』指定を受ける2015年6月29日に病院設立75周年を記念してパーソナル切手を発行した。

(8) 今も残る旧ソ連時代の郵便慣行

(イ) 初日カバーの後日郵便使用

日本では初日カバーや記念小型印押印済みカバーは郵便投函日の料金相当の切手貼付が必要である。ところが、リトアニアではこれら未使用初日カバー等も郵便に使用する時点で、追加貼付した切手を含めたカバー上の切手合計金額が適正郵便料金を満たしていれば何時でも郵便として投函することができる。この郵便慣行は旧ソ連時代から続き、ロシア始め旧ソ連邦独立諸国共通である。但し、

2015 年 1 月 1 日以降は旧通貨表示切手貼りの初日カバーの再使用は無効である。

図 31 のカバーは 1996 年 1 月 20 日発行の WWF(世界自然保護基金) オーロック親子を描いた 70cent 切手の初日カバーである。この初日カバーをユーロ通貨切替後の旧通貨使用猶予期間内である 2015 年 10 月 1 日に日本宛国際非優先便(20g 以下料金、0.71€ = 2.45Litas) として、差額をリタス切手 2 枚計 1.65Litas + 0.01€ 切手 1 枚を貼って送ったものである。厳密な換算計算をしてみると 0.01€ (=0.05 Litas) 相当分の料金不足となるが、旧通貨猶予期間中の小額の換算ミスは大目で見られていたようである。



図 31. 初日カバーの再使用

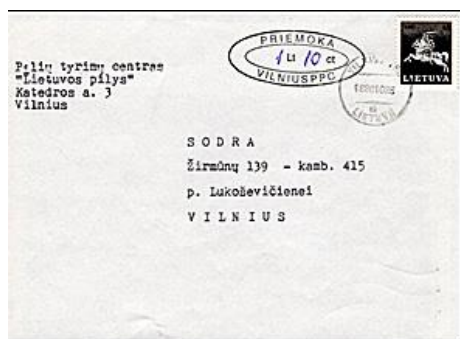


図 32. 料金不足郵便(貼付切手 40cent) 不足料金 10cent+罰金(書留料金相当額)1.00Litas=1.10Litas

(ロ) 料金不足郵便の罰金制度(図 32)

ハイパーインフレ期には郵便料金改訂、独立初期のリトアニア印刷切手の使用停止、切手額面表示単位の変更などのために料金不足郵便が存在する。また、郵便局員の理解不足から不足料金の未徴収や過大徴収の事例が散見されるが、料金不足の罰金はソ連時代の規則がそのまま引き継がれ、今でも『不足料金+書留料金』となっている。

リトアニアの郵便料金は 2015 年 1 月 1 日のユーロ通貨導入時にはリタスからユーロに換算されただけで実質的には 2007 年 9 月 1 日の料金改定から一度も変更されなかったのだが、リトアニア郵便の財政事情から 2018 年 8 月 1 日付で国内料金のみ+10cent の値上げとなった。(図 33)



図 33 料金値上げにより 49cent となった国内非優先便

[本稿は、埼玉県郵趣連合会会報「埼玉郵趣 46 号」(2018 年 12 月発行) に掲載された原稿を再構成したものである。]

甲斐さん追悼の辞

小林 彰

甲斐 正三(まさみ)さんは、2018年10月17日朝、ご逝去されました。享年80歳。5年ほど前に膵臓癌が見つかり外科手術を受けられました。その後、抗ガン剤治療を続けられ、今から1年ほど前までは回復されたようにお見受けしていましたが、その後、急変されたようでした。

1. 甲斐さんとの出会い

甲斐さんは早稲田大学第一理工学部機械工学科で小林の2年先輩でした。初対面は「早大切手研」の会室。時は1959年4月、甲斐さん大学3年生、小林新入生。以来、切手よりも大学近くの雀荘で手ほどきを受けました。甲斐さんは理論家らしく「タンヤオピンフ」で網を張ってこまめに稼ぎ、一局終わるとトップを取る事が屡々でした。

2. 稲門フィラテリー

積極的に発足に尽力され、当初から10年ほど会報の編集を担当されました。行間のサイズなど緻密な計算でレイアウトされていたのが印象的でした。稲門フィラ以外にも三鷹郵趣会会報などの編集も手掛られ、読者から高い評価を得ておられました。

3. 本庄早稲田駅開業

2004年3月31日、上越新幹線「本庄早稲田駅」開業。甲斐さんと初日に同駅に行き硬券を入手。切手ファンより鉄道ファンが圧倒的に多いことを知り二人で驚嘆。

4. 日本郵趣協会「郵趣」

小林が編集部と打合せしている時、偶々、

甲斐さんが来所。その後、フランス普通切手、映画や城関係など各分野の豊富な話題で同誌に欠かせない人気執筆者となり、読者から賞賛されました。特に映画と切手とをジョイントさせた収集のあり方は切手や映画ファンだけでなく、一般の方に切手収集の奥深さを啓蒙されました。

5. 切手収集とその周辺

甲斐さんは1945年以降の普通切手が主要収集範囲でした。英国のマーチン・シリーズ、フランスのマリアンヌ・シリーズ、カナダのセントナリー・シリーズなどなど。JAPEX 2010に「ガンドンのマリアンヌ」を出品され金銀賞受賞。適正料金期間僅か3日の貴重なカバーが目焼き付いています。

他方、甲斐さんはフランス郵政の通信販売を利用され、現行切手や1950～60年代の凹版人気シリーズの復刻版など入手されていて、小林分も合わせ注文いただきました。

このように甲斐さんとは60年に及ぶ親しいお付き合いでした。ここ10年来、渋谷駅周辺の喫茶店で郵趣談義に花を咲かせたのも忘れられない思い出です。

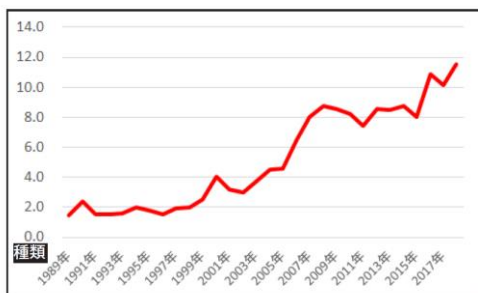
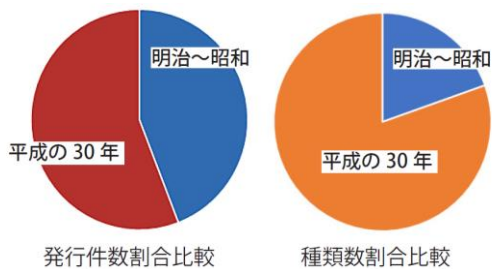
10月3日に広尾の日赤病院にお見舞いに行きました。帰り際に両手で握手、うっすらと涙が滲んでいるようでした。それから2週間後、甲斐さんは遠い世界に旅立たれました。甲斐さん、本当に長い間、親身に各分野のことを教えていただき、ありがとうございました。どうぞゆっくりご休息下さい。合掌。 [完]

平成の切手 30 年間を目で考える

平成 30 年間(1989 年～2018 年)に発行された切手を視覚的にまとめてみました。

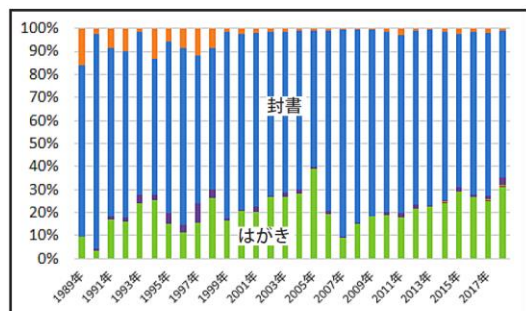
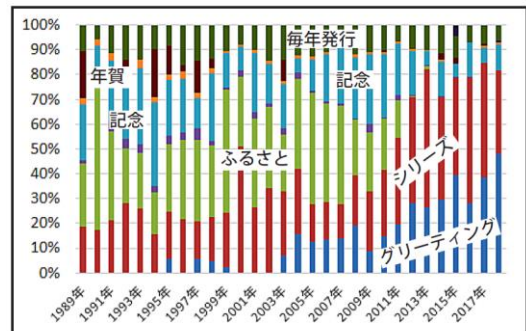
期間別 発行件数、種類数

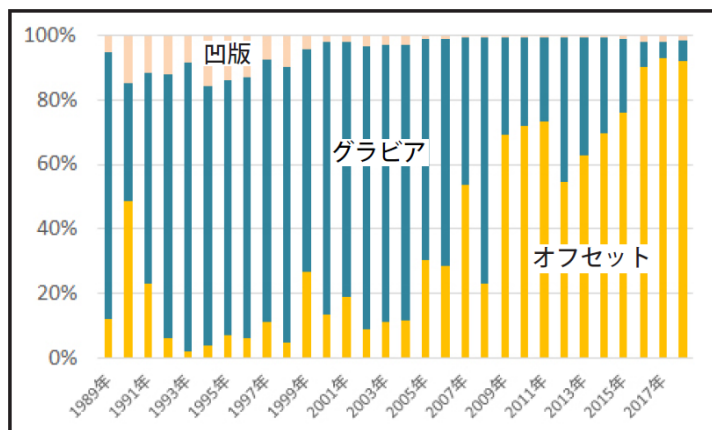
期間	1871～1988 年 明 4～昭 63 年	1989～2018 年 平成の 30 年	全期間
発行件数	1142	1445	2587
発行種類	1855	7631	9486



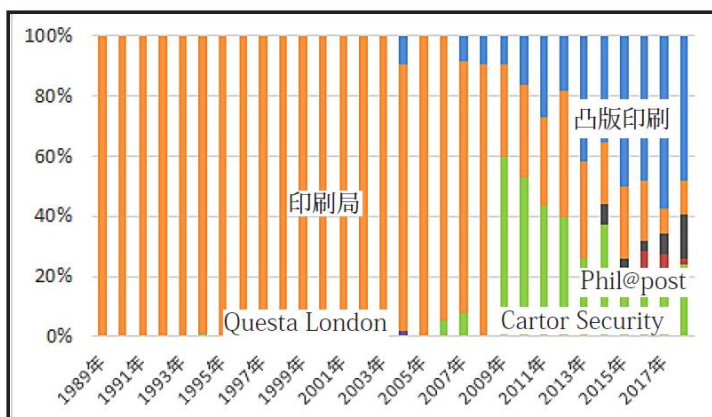
1 件発行時の種類数降順順位 10

種類	年	内容	種類	料額
ふるさと	1990	都道府県の花	47	料額 1
シリーズ	2016	地方自治 60 記念切手帳	47	料額 1
グリーティング	2015	グリー・アニメキャラ地方版	38	料額 2
ふるさと	2007	四国八十八ヶ所第 4 集	30	料額 1
グリーティング	2015	2015 ハッピーグリーティング	30	料額 3
グリーティング	2018	2018 ハッピーグリーティング	30	料額 3
記念	2009	日本開港 150 周年記念	26	料額 1
販売品	2018	和の食文化レターセット	24	料額 1
記念	2001	2001 国際切手展 他に 64 件	20	料額 3

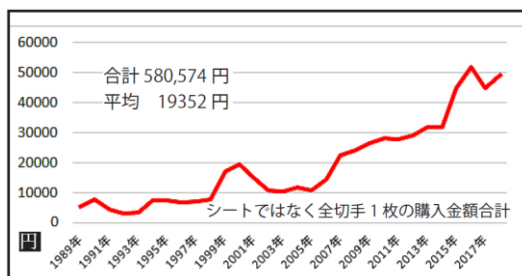




平成の 30 年 印刷割合の推移



平成の 30 年 印刷会社割合の推移



年間発行切手購入必要金額の推移

平成の 30 年と、明治～昭和の 120 年、4 分の 1 の時間に 4 倍もの切手が発行されたことを目で理解し、切手が国家のメディアとして重厚、荘厳なものから、児童、女性に興味をもつ身近なメディアへ変貌したことを痛感する。さて、新たな元号の下、切手がどんな姿で生きながらえるのか。
(編集子)

第 45 回 稲門フィラテリー常設展 「昭和～平成 亥年の年賀郵便切手」

平成 24 年 12 月第 21 回常設展において、過去の巳年年賀郵便切手・お年玉切手シート、およびその題材になった郷土人形（写真）を展示したところ、新宿北郵便局の多くのお客様に喜んでいただきました。

その後、翌年から毎年 12 月の常設展では、翌年干支の年賀切手とその題材となった郷土人形（写真）を展示し、好評を得てきました。

今回第 45 回の常設展も例年通り、平成 31 年が亥年になるので「昭和～平成 亥年の年賀郵便切手」と題して平成 30 年 12 月 2 日から平成 31 年 3 月初旬まで、過去の亥年の年賀郵便切手・お年玉切手シート、およびその題材になった郷土人形を展示いたしました。

展示の郷土人形写真は、平成 23 年 7 月横浜で開催の日本国際切手展 2011 と同時期に横浜で開催された「年賀切手の題材になった人形展」で撮影したものを多く採用しました。

記 磯野 昭彦

昭和34年 鯛えびす



香川県高松 鯛えびす



新潟県新井 ウリの樹皮・猪

昭和46年 ウリの樹皮・猪



宮城県仙台 猪乗り金太郎

昭和58年 猪乗り金太郎



平成7年 出雲張い子・猪



島根県出雲 出雲張い子・猪

岐阜県高山 木版手染めぬいぐるみ・猪



東京都 江戸趣味宝珠の亥 富山県 富山土人形・亥

平成19年 江戸宝珠の亥 富山土人形・亥



平成31年 中湯川人形来らんしよ亥 八橋人形干支亥



福島県会津 中湯川人形来らんしよ亥 秋田県秋田 八橋人形干支亥



平成 31 年用

会員執筆の寄稿記事

2018 年に刊行された郵趣誌、書籍に掲載された会員の記事を以下にまとめました。他にございましたら編集部までご連絡ください。

執筆者	刊行年月日	掲載誌	No	掲載頁	題名
荒木	2018.9.20	関東郵趣サロンだより (JPS 関東郵趣サロン研究 究会会報)	373	2	リニア郵便痛恨の図案エラー発見 (月 1 回発行)
荒木	2018.10.1	川越 YUSHU (JPS 川越支部会報)	319	2 3	リニア国内郵便料金値上げ 北海道胆振東部地震 札幌からの便り (月 1 回発行)
荒木	2018.12.1	埼玉郵趣 (埼玉県郵趣連合会報)	46	2-10	リニア郵便史 第 2 回(1943～2018) (年 1 回発行)
鎌倉	2018.1～12	湘南郵趣 (湘南郵趣の会会報)	524- 535	月刊 各号	湘南の郵便局 (1) ～ (12) 連載 (年 1 2 回発行)
鎌倉	2018.3～12	THE EQ REPORT (JPS 震災郵趣研究会 会報)	15-18	季刊 各号	震災切手 1 銭 5 厘東京印刷版と横濱 震災切手 2 銭東京印刷「の第 2 次版欠点調査 「震災切手と震災郵趣展」震災切手東京印刷版 震災切手東京印刷版 20 銭の第 2 次版欠点 震災切手・はがきと手押し標語印 朝鮮使用例
鎌倉	2018.6.15	たんぶるぼすと (鳴美)	Vol.42 No.7	1-2	(続)明治 33 年の私製広告葉書(押印初期使用)
鎌倉	2018.6.20	郵趣研究 (日本郵趣協会)	142	2-3 表紙	震災切手 5 銭東京印刷版 試刷切手のポジション 特定
鎌倉	2018.9.20	最近の情報 (小判振舞処会会報)	175	4-7	小判青 1 銭葉書の銘版・郵便印切り替え時期 (深川局)
池澤	2018.3.31	切手の博物館研究紀要	第 13 号	25- 43	作家の直筆書簡を読み解く～筆跡に込められた創 作の原点

稲門フィラテリー役員

会長 青柳次男
総務 伊藤和紘 稲田比島志 岸浩一
早川弘司 五十野和男(常設展担当)
会計 石井克忠 木元淳一郎
編集 小川義博 池澤克就
部会 宮鍋益治 村井悌二
会計監査 住吉忠男
顧問 花本金吾
アドバイザー 吉沢忠一 小西邦彦 磯野昭彦

※前号に誤記あり再掲します。申し訳ございません。

★切手教室 新宿北郵便局

148回 2月2日

パグボウ便 講師 水谷勇氏

149回 3月2日

下総國の二重丸印 講師 浅木福夫氏

★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局 第46回 春です 切手で花を愛でてみました

◆年賀はがきは捨てずに◆

年賀はがきのお年玉くじ、今年は新元号に改まる特別な年ということで、郵政記念日である4月20日にもう一度抽選があります。賞品は限定10,000枚のシリアルナンバー入り小型シート。皆様今年の年賀はがきは捨てずにお持ちください。



2月2日幹事会

1. 練馬稲門会の郵趣活動「孫と楽しむ切手同好会」に「協力」する。
2. 新宿北郵便局への常設展は、担当者提案の通り実施する。
3. 幹事会の報告について、電子メール受信可能会員には、メールにて報告。会報での報告は従来通り継続する。
4. 会報合本の国会図書館への納本を準備する。
5. 会報を下記外部郵趣会にも配布する。
慶応三田郵趣会、白井郵趣会

訃報

横尾勝彦会員が11月17日に逝去されました。
ご冥福をお祈りいたします。

■編集後記

平成最後の稲門フィラテリー、無事発刊のはこびとなりました。30年前、時代が平成へと移った日、私はまだ札幌の高校に通う一年生。早稲田にここまで深く関わることになるとは夢にも思いませんでした。皆様の平成はどのような時代でしたか。次号は新しい元号でお届けできると思います。稲門フィラテリー存続のため、皆様の寄稿をお待ちしております。(池)

発行日：2019年3月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：青柳次男

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 小川義博

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。